



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 シンデン・ハイテックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3131 URL <https://www.shinden.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 齋藤 敏積 TEL 03-3537-0101  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,678	5.0	210	391.4	231	—	158	—
2019年3月期第1四半期	11,126	△3.0	42	△86.2	△83	—	△58	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 158百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △76百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	79.33	—
2019年3月期第1四半期	△27.80	—

(注) 2019年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。  
 また、2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	20,602	5,316	25.8	2,658.70
2019年3月期	20,701	5,247	25.3	2,624.25

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,307百万円 2019年3月期 5,239百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	△10.0	700	11.8	450	50.1	300	43.1	150.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期1Q	2,110,200株	2019年3月期	2,110,200株
2020年3月期1Q	113,900株	2019年3月期	113,800株
2020年3月期1Q	1,996,340株	2019年3月期1Q	2,093,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1株当たり当期純利益につきましては、期中平均株式数の変動を考慮して算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 品目別販売実績	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における、我が国経済は、中国向けの輸出を中心とした産業に翳りがあるものの、個人消費が持ち直し、内需を中心とした設備投資が深刻な人手不足による省力化及び合理化などにより増加傾向にあり、緩やかに回復しています。しかし、米中貿易摩擦の長期化などの海外経済の失速懸念により、我が国の景気先行きは、不透明感が増大しております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界につきましては、データセンタ向けなどのクラウド需要の拡大を背景としたAI及びIoT分野や、車載関連分野における需要の拡大が下支えしているものの、中国向け輸出の減少、スマートフォンの普及一巡及びデータセンタへの投資の一服で、前年後半から市況が減速しているところに、メモリ価格の下落で一段と冷え込みました。

このような情勢の下、当社グループは、既存顧客への供給責任を果たしつつ、厳しい外部要因に耐えうる経営基盤を構築するための「収益構造改革」を推進しており、半導体・液晶分野の高採算商材の拡販と電子機器・その他分野（主にバッテリー及びその周辺機器）における新規ビジネスの開拓という取組みを加速させてまいりました。

これらの取組みにより売上高は、メモリ価格の下落基調及び産業用機器向けビジネスなどの需要減を、液晶モジュールビジネス、EMSビジネス及びバッテリービジネスなどでリカバーしました。利益面では、営業利益は、為替が前四半期末から安定していたことにより、液晶・半導体ビジネスにおいて想定していた利益率を確保できたことと、高付加価値商材の取扱いに注力したことにより増加しました。経常利益以下の利益は、営業利益増に加え、為替レートが、当第1四半期連結会計期間末時点で円高基調に推移しており、外貨建て負債が外貨建て資産を上回り評価上の為替差益が生じたことなどにより、黒字転換しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は116億78百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は2億10百万円（前年同四半期比391.4%増）、経常利益は2億31百万円（前年同四半期は経常損失83百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億58百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失58百万円）となりました。

品目別では、液晶分野は、車載用・モニタ用液晶モジュールが好調に推移したため、売上高49億55百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。半導体分野は、車載向けが好調に推移したものの、産業用機器向けCPUの減少により、売上高41億4百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。電子機器分野は、異物検出装置はほぼ前年並みに推移したものの、メモリ市況の低迷に起因するメモリモジュールの不振により、売上高11億38百万円（前年同四半期比24.2%減）となりました。その他分野は、バッテリービジネス及びEMSビジネスに注力したことと、前期納品予定の設備用機器の期ズレ納品もあり、売上高14億80百万円（前年同四半期比179.4%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

当第1四半期連結累計期間は、売上高103億88百万円（前年同四半期比7.4%増）となり、セグメント利益は、1億15百万円（前年同四半期比386.9%増）となりました。

(海外)

当第1四半期連結累計期間は、メモリ価格の下落並びにメモリ及びメモリモジュールなどの半導体関連商品の需要減などにより、売上高12億90百万円（前年同四半期比11.3%減）となりましたが、前期納品予定であった設備機器の期ズレ納品、販売費及び一般管理費の節減により、セグメント利益は、14百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

総資産は206億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円(0.5%)減少しました。主な要因は、現金及び預金が8億65百万円(12.4%)、受取手形及び売掛金が4億48百万円(6.7%)増加しましたが、商品が10億83百万円(18.7%)、その他の流動資産が3億14百万円(33.4%)減少したことによるものであります。

## ② 負債

負債は152億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億68百万円(1.1%)減少しました。主な要因は、その他の流動負債が1億52百万円(22.1%)、未払法人税等が52百万円(263.6%)、買掛金が45百万円(1.1%)増加しましたが、有利子負債が4億13百万円(3.9%)減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産は53億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円(1.3%)増加しました。主な要因は、利益剰余金が68百万円(2.7%)増加したことによるものであります。

④ 経営指標

流動比率は、短期借入金の増加、商品の減少等により、前連結会計年度末に比べ7.4ポイント減少し163.3%となりました。自己資本比率は、利益剰余金の増加による純資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント増加し25.8%となりました。有利子負債対純資産比率は1.9倍となり、前連結会計年度末とほぼ同水準となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信」の通期業績予想に変更はありません。

なお、当社といたしましては、引続き米中貿易摩擦や大韓民国向けの輸出管理にかかる政府の措置などの動向を注視し、業績予想の修正を要すべき場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,948,626	7,813,655
受取手形及び売掛金	6,657,860	7,106,460
電子記録債権	80,257	67,798
商品	5,794,135	4,710,473
その他	941,176	626,752
貸倒引当金	△18,996	△20,875
流動資産合計	20,403,058	20,304,264
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	5,733	5,267
その他(純額)	4,951	29,720
有形固定資産合計	10,684	34,987
無形固定資産		
ソフトウェア	46,415	42,247
その他	1,311	1,311
無形固定資産合計	47,726	43,559
投資その他の資産		
差入保証金	173,785	172,215
その他	66,669	47,306
投資その他の資産合計	240,455	219,521
固定資産合計	298,867	298,067
資産合計	20,701,926	20,602,332
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,208,139	4,253,165
短期借入金	4,217,620	4,634,970
1年内返済予定の長期借入金	2,727,552	2,578,169
1年内償還予定の社債	60,000	30,000
未払法人税等	19,839	72,127
賞与引当金	30,345	20,078
その他	690,418	842,709
流動負債合計	11,953,915	12,431,220
固定負債		
長期借入金	3,477,665	2,826,310
退職給付に係る負債	20,793	20,044
その他	2,158	8,655
固定負債合計	3,500,616	2,855,009
負債合計	15,454,532	15,286,229
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,438,519	1,438,519
資本剰余金	1,390,417	1,390,417
利益剰余金	2,576,314	2,644,844
自己株式	△173,131	△173,131
株主資本合計	5,232,120	5,300,650
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,925	6,908
その他の包括利益累計額合計	6,925	6,908
非支配株主持分	8,347	8,543
純資産合計	5,247,393	5,316,102
負債純資産合計	20,701,926	20,602,332

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	11,126,708	11,678,669
売上原価	10,550,225	10,960,241
売上総利益	576,482	718,427
販売費及び一般管理費	533,634	507,876
営業利益	42,848	210,550
営業外収益		
受取利息	154	83
仕入割引	2,169	95
為替差益	—	91,408
還付加算金	807	—
その他	392	366
営業外収益合計	3,524	91,954
営業外費用		
支払利息	59,578	65,372
債権売却損	8,112	5,965
為替差損	61,901	—
その他	274	129
営業外費用合計	129,866	71,467
経常利益又は経常損失(△)	△83,494	231,037
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,494	231,037
法人税、住民税及び事業税	6,002	55,246
法人税等調整額	△31,312	17,422
法人税等合計	△25,310	72,669
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△58,184	158,368
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,184	158,368

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△58,184	158,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	—
為替換算調整勘定	△18,816	178
その他の包括利益合計	△18,799	178
四半期包括利益	△76,984	158,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,861	158,351
非支配株主に係る四半期包括利益	△122	195



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 品目別販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
液晶	4,532,972	40.7	4,955,041	42.4	9.3
半導体	4,562,347	41.0	4,104,352	35.1	△10.0
電子機器	1,501,304	13.5	1,138,300	9.8	△24.2
その他	530,083	4.8	1,480,974	12.7	179.4
合計	11,126,708	100.0	11,678,669	100.0	5.0

(注) 当連結グループの事業は、半導体及び電子部品の販売事業の単一事業であるため、品目別の販売実績を記載しております。